

---

# 日本ロシア文学会

## 第61回定例総会・研究発表会

### プログラム

---

2011年10月8日(土)～9日(日)  
慶應義塾大学(日吉)

#### 全体プログラム

前日企画 10月7日(金)	16:00-17:30	情報交換ラウンジ“KЭЙO” 来往舎(2F:大・中会議室)
	18:00-21:00	プレシンポジウム 来往舎(1F:シンポジウムスペース)
初日企画 10月8日(土)	09:20-09:35	開会式 第4校舎独立館DB202(地下2階)
	09:40-12:30	研究発表 第4校舎独立館D202, D310, D311
	12:30-14:00	昼食休憩 理事会 第4校舎独立館D404
	14:00-16:00	ワークショップ 第4校舎独立館D202, D310
	16:15-18:00	定例総会 第4校舎独立館DB202(地下2階)
	18:30-20:30	懇親会 協生館2F クイーンアリス
第2日企画 10月9日(日)	09:40-12:30	研究発表 第4校舎独立館 D202, D310, D311
	12:45-13:45	昼食休憩 編集委員会第4校舎独立館D404; 国際交流委員会・ロシア語教育委員会 同DB202(地下2階)
	14:00-16:00	ワークショップ 第4校舎独立館D202

【会場案内】  
第4校舎独立館  
〈受付・本部〉DB202前(地下2階)  
〈休憩室〉D410(4階)  
〈販売・展示〉D413(4階)  
〈理事会室・控室〉D404(4階)

【会場校 住所・電話番号】  
〒223-8521 横浜市港北区日吉4-1-1  
慶應義塾大学 日吉キャンパス  
熊野谷葉子研究室 045-566-1333

前日企画 10月7日(金)

<b>情報交換ラウンジ “KЭЙO” 「大学でのロシア語教育の今を語ろう」</b> 16:00-17:30 来往舎 (2F: 大・中会議室)
<b>プレシンポジウム: ロシア語発「外国語教育連携の時代へ —生涯教育から外国語教育を考える—」</b> 18:00-21:00 来往舎 (1F: シンポジウムスペース)

初日研究発表 10月8日(土) 第4校舎独立館

第1会場 D202				
ブロック番号 日時	番号	発表者	題 目	司会者 (◎は責任者)
ブロック① 8日 9:40-10:45	A01	中野幸男	ギェドロイツとタミズダートー亡命ポーランドにおけるロシア文学出版	◎西野常夫 岩本和久
	A02	関岳彦	プロツキー初期作品の研究	
ブロック④ 8日 10:50-12:30	A03	宮川絹代	「胎内的なもの」というイメージ: プーニン文学の恋愛を読むために	◎野中進 杉本一直
	A04	奈倉有里	サーシャ・ソコロフ『ばかの学校』のレアリア	
	A05	前田しほ	戦争という記憶の語りについて: アレクシエーヴィチ『戦争は女の顔をしていない』証言集, 映画, 演劇をめぐって	
第2会場 D310				
ブロック番号 日時	番号	発表者	題 目	司会者 (◎は責任者)
ブロック② 8日 9:40-10:45	B01	コベルニック・ナ ディヤ	ロシア語における“Vt sebya”と“Vt -sya”の対応性について	◎佐藤昭裕 服部文昭
	B02	恩田義徳	古代教会スラブ語および古代ロシア語の分詞の誤用について	
ブロック⑤ 8日 10:50-12:30	B03	シャトヒナ・ガン ナ	Иновации в преподавании РКИ (разработка урока по теме «Телефон»)	◎黒岩幸子 メーリニコワ・ イリーナ
	B04	クロチコフ・ユー リー	ヨーロッパの教育機関におけるバイリンガル生徒への実践的教育	
	B05	ペトリシチェヴァ ・ニーナ	Russian Phatic Interjections: Development and Functions	
第3会場 D311				
ブロック番号 日時	番号	発表者	題 目	司会者 (◎は責任者)
ブロック③ 8日 9:40-10:45	A06	榎内裕子	芥川龍之介によるトルストイ受容—『イワン・イリイチの死』読書から「蜘蛛の糸」「枯野抄」執筆まで	◎木村崇 中村唯史
	A07	山路明日太	「光」と「闇」からみたゴーリキー—『イゼルギリ婆さん』を中心に	
ブロック⑥ 8日 10:50-12:30	C01	一柳富美子	声楽作品におけるグリーンカの「保守性」～同時代のアリャービエフ, ダルゴムィーシスキイとの比較を通して～	◎楯岡求美 梅津紀雄
	C02	上田洋子	絵画から演劇へ—ニコライ・タラプーキンへのメイエルホロド論	
	C03	河村彩	生産主義の広告論とロトチェンコのグラフィックデザイン	

ワークショップ 10月8日(土) 14:00-16:00 第4校舎独立館

会場	番号	発言者	題名
第1会場 D202	W-1	村田真一, イチン・コルネーリヤ, グレチコ・ヴァレリー, 楯岡求美	Карнавал революции: гротеск и советская культура 1920 - 1930-х годов
第2会場 D310	W-2	和田芳英, 中本信幸, 源貴志, 靱内裕子, 南平かおり	ロシア文学研究の先駆者, 昇曙夢を語る

懇親会 10月8日(土) 18:30~20:30

会場: 慶應義塾大学(日吉キャンパス) 協生館2F クイーンアリス 会費: 8,000円(大学院生4,000円) *その他, 非常勤講師の方などには割引料金もご用意しています。
--

第2日研究発表 10月9日(日) 第4校舎独立館

第1会場 D202				
ブロック⑦ 9日 9:40-10:45	A08	秋月準也	『巨匠とマルガリータ』における「家」と「アンチ家」ーロトマンの作品解釈をめぐってー	◎村田真一 宮澤淳一
	A09	石原公道	ビートコフは何処に?	
ブロック⑩ 9日 10:50-12:30	A10	小澤裕之	オペリウ以前のハルムスの詩学	◎貝澤哉 長谷川章
	A11	平賀雄	イサーク・バーベリ『騎兵隊』における登場人物: 作品と日記との間	
	A12	古川哲	『幸せなモスクワ』における身体毀損ープラトーフにおける身体・空間把握の変遷	
第2会場 D310				
ブロック⑧ 9日 9:40-10:45	C04	中堀正洋	異教神ヴォロスの月神としての一機能	◎安村仁志 伊東一郎
	C05	塚田力	アレクサンドル・ブロークと古儀式派: 『十二』における救世主の呼称をめぐって	
ブロック⑪ 9日 10:50-12:30	B06	福安佳子	ロシア語命令法における命令動作の動作主ー『イワン・デニーソヴィッチの一日』の中でー	◎匹田剛 堤正典
	B07	村越律子	命令文とモダリテイ	
	B08	世利彰規	ロシア語の間接話法における de dicto のモダリテイ	
第3会場 D311				
ブロック⑨ 9日 9:40-10:45	A13	越野剛	ナポレオン戦争におけるマロース(冬の寒さ)の表象	◎郡伸哉 大平陽一
	A14	山下大吾	『エヴゲーニイ・オネーギン』における西洋古典ー散文をめぐる「抒情的逸脱」を中心に	
ブロック⑫ 9日 10:50-12:30	A15	高橋知之	描かれない夢ー1840年代のドストエフスキー作品について	◎松本賢一 乗松亨平
	A16	坂中紀夫	『未成年』における理念の無矛盾性について	
	A17	加藤純子	アレクセイ・カラマーゾフの瞑想と「糸」の比喩: 日本概念「縁」との対照	

ワークショップ 10月9日(日) 14:00-16:00 第4校舎独立館

会場	番号	発言者	題名
第1会場 D202	W-3	野中進, 安井亮平, 中村唯史, 岩本和久, 平松潤奈	いま, ソ連文学を読み直すとは

